

大阪医科大学学報

第30号 平成8年11月



天高くメタセコイア

◆目

学納金の改定について	2
規程改正	3
教授候補者の公募	4
人事〔法人、功労教授称号授与、採用〕 〔退職、昇任、委嘱・解嘱、海外渡航〕	5～8
学位記授与	8
医学会秋季講演会	9
文部省補助金関係	10
平成9年度入試要項	11～13

次◆

センター紹介	14
医学の散歩道	14～15
海外出張記	15～16
スマトラ風土記	16～17
会議・行事予定	17～18
学内行事	18～20
附属病院関係	21～22
俳句	22
たかつき散策	23

学納金の改定について

本学では、優秀な学生を入学させるため、平成9年度学部入学者の初年度学納金のうち、教育充実費950万円（入学時一括納入）を初年度500万円、次年度以降90万円の分割納入とすると共に、毎年5%スライドアップの授業料、実習料、施設拡充費を平成9年度については、平成8年度と同額の授業料157万円、実習料31万円、施設拡充費105万円に措置することを決定しました。

これにより、初年度学納金総額は入学金等を合わせて893万円、初年度納付額に限り450万円の減額となり、入学者に対する負担が軽減されることになりました。

学則中一部改正について

学納金の一部変更に伴い、学則中第40条および第41条が下記のとおり改正されました。

学則新旧対照表

条 文	新	旧																																																																																																									
第40条	<p>授業料その他納入金及び納入期限は、次のとおりとする。</p> <p>(第1年次)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th rowspan="2">納入期限</th> <th colspan="3">納 入 金 額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>授業料</th> <th>実習料</th> <th>施設拡充費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>入学時</td> <td>53万円</td> <td>11万円</td> <td>35万円</td> <td>99万円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>9月15日</td> <td>52万円</td> <td>10万円</td> <td>35万円</td> <td>97万円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>1月15日</td> <td>52万円</td> <td>10万円</td> <td>35万円</td> <td>97万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>157万円</td> <td>31万円</td> <td>105万円</td> <td>293万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(第2年次以降)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th rowspan="2">納入期限</th> <th colspan="4">納 入 金 額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>授業料</th> <th>実習料</th> <th>施設拡充費</th> <th>教育充実費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>4月15日</td> <td>53万円</td> <td>11万円</td> <td>35万円</td> <td>90万円</td> <td>189万円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>9月15日</td> <td>52万円</td> <td>10万円</td> <td>35万円</td> <td>—</td> <td>97万円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>1月15日</td> <td>52万円</td> <td>10万円</td> <td>35万円</td> <td>—</td> <td>97万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>157万円</td> <td>31万円</td> <td>105万円</td> <td>90万円</td> <td>383万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 前項に定めるもののほか、次の諸費を入学時に一括納入しなければならない</p> <p>1 入 学 金 <u>100万円</u></p> <p>2 教育充実費 <u>500万円</u></p>	期 間	納入期限	納 入 金 額			計	授業料	実習料	施設拡充費	第1期	入学時	53万円	11万円	35万円	99万円	第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	97万円	第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	97万円	合 計		157万円	31万円	105万円	293万円	期 間	納入期限	納 入 金 額				計	授業料	実習料	施設拡充費	教育充実費	第1期	4月15日	53万円	11万円	35万円	90万円	189万円	第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	—	97万円	第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	—	97万円	合 計		157万円	31万円	105万円	90万円	383万円	<p>授業料その他納入金及び納入期限は、次の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th rowspan="2">納入期限</th> <th colspan="3">納 入 金 額</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>授業料</th> <th>実習料</th> <th>施設拡充費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>4月15日</td> <td>53万円</td> <td>11万円</td> <td>35万円</td> <td>99万円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>9月15日</td> <td>52万円</td> <td>10万円</td> <td>35万円</td> <td>97万円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>1月15日</td> <td>52万円</td> <td>10万円</td> <td>35万円</td> <td>97万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>157万円</td> <td>31万円</td> <td>105万円</td> <td>293万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 前項に定めるもののほか、次の諸費を入学時に一括納入しなければならない</p> <p>1 入 学 金 <u>100万円</u></p> <p>2 教育充実費 <u>950万円</u></p>	期 間	納入期限	納 入 金 額			計	授業料	実習料	施設拡充費	第1期	4月15日	53万円	11万円	35万円	99万円	第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	97万円	第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	97万円	合 計		157万円	31万円	105万円	293万円
期 間	納入期限			納 入 金 額				計																																																																																																			
		授業料	実習料	施設拡充費																																																																																																							
第1期	入学時	53万円	11万円	35万円	99万円																																																																																																						
第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	97万円																																																																																																						
第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	97万円																																																																																																						
合 計		157万円	31万円	105万円	293万円																																																																																																						
期 間	納入期限	納 入 金 額				計																																																																																																					
		授業料	実習料	施設拡充費	教育充実費																																																																																																						
第1期	4月15日	53万円	11万円	35万円	90万円	189万円																																																																																																					
第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	—	97万円																																																																																																					
第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	—	97万円																																																																																																					
合 計		157万円	31万円	105万円	90万円	383万円																																																																																																					
期 間	納入期限	納 入 金 額			計																																																																																																						
		授業料	実習料	施設拡充費																																																																																																							
第1期	4月15日	53万円	11万円	35万円	99万円																																																																																																						
第2期	9月15日	52万円	10万円	35万円	97万円																																																																																																						
第3期	1月15日	52万円	10万円	35万円	97万円																																																																																																						
合 計		157万円	31万円	105万円	293万円																																																																																																						
第41条	削除	<p><u>新に入学した者は入学許可の日より10日以内に該期の授業料を納付しなければならない</u></p>																																																																																																									
附 則	<p><u>この改正は、平成9年4月1日から施行する。</u></p> <p><u>但し、平成8年度以前から在学する者については、改正後の第47条の規定にかかわらず、なお従前の例による。</u></p>																																																																																																										

教授候補者の公募について

平成9年3月31日をもって定年退職されます、微生物学講座担当中井益代教授、神経精神医学講座担当堺俊明教授、一般・消化器外科学講座担当岡島邦雄教授の後任教授の選考を行うことになりました。

応募要項は次のとおりです。

<微生物学講座担当教授候補者応募要項>

応募の方法は自薦または他薦によります。
(別紙 本学教授選考規程第6条参照)

- 1) 提出書類 (同封の用紙を使用して下さい)
 - ・履歴書 (様式1)
 - ・教育・研究歴 (教育・研究活動の概要および将来の抱負をA4用紙<縦>に横書2000字程度にまとめて下さい)
 - ・研究業績目録 (様式2)
 - ・主要業績 (主要論文5編、別刷各5部) (コピーでも可)
 - ・他薦の場合は推薦書 (様式3) および本人の同意書 (様式随意、A4用紙) を添付して下さい。

- 2) 締切期日 平成8年11月30日 (土) 必着
- 3) 提出先 高槻市大学町2番7号 (〒569)
大阪医科大学総務部庶務課気付
微生物学講座担当教授選考委員会
(0726-83-1221代)

- 添付書類
- ・本学教授選考規程 (抜粋)
 - ・履歴書 所定形式
 - ・業績目録 所定形式
 - ・推薦書 所定形式

附記：選考の過程で、選考委員会が応募者の方とお会いする機会を持ちたいと存じます。

<神経精神医学講座担当教授候補者応募要項>

応募の方法は自薦または他薦によります。
(別紙 本学教授選考規程第6条参照)

- 1) 提出書類 (同封の用紙を使用して下さい)
 - ・履歴書 (様式1)
 - ・臨床・教育・研究歴 (臨床・教育・研究活動の概要および将来の抱負をA4用紙<縦>に横書2000字程度にまとめて下さい)
 - ・研究業績目録 (様式2)
 - ・主要業績 (主要論文5編、別刷各5部) (コピーでも可)
 - ・他薦の場合は推薦書 (様式3) および本人の同意書 (様式随意、A4用紙) を添付して下さい。

- 2) 締切期日 平成8年11月30日 (土) 必着
- 3) 提出先 高槻市大学町2番7号 (〒569)
大阪医科大学総務部庶務課気付
神経精神医学講座担当教授選考委員会
(0726-83-1221代)

- 添付書類
- ・本学教授選考規程 (抜粋)
 - ・履歴書 所定形式
 - ・業績目録 所定形式
 - ・推薦書 所定形式

附記：選考の過程で、選考委員会が応募者の方とお会いする機会を持ちたいと存じます。

<一般・消化器外科学講座担当教授候補者応募要項>

応募の方法は自薦または他薦によります。
(別紙 本学教授選考規程第6条参照)

- 1) 提出書類 (同封の用紙を使用して下さい)
 - ・履歴書 (様式1)
 - ・臨床・教育・研究歴 (臨床・教育・研究活動の概要および将来の抱負をA4用紙<縦>に横書2000字程度にまとめて下さい)
 - ・研究業績目録 (様式2)
 - ・主要業績 (主要論文5編、別刷各5部) (コピーでも可)
 - ・他薦の場合は推薦書 (様式3) および本人の同意書 (様式随意、A4用紙) を添付して下さい。

- 2) 締切期日 平成8年11月30日 (土) 必着
- 3) 提出先 高槻市大学町2番7号 (〒569)
大阪医科大学総務部庶務課気付
一般・消化器外科学講座担当教授選考委員会
(0726-83-1221代)

- 添付書類
- ・本学教授選考規程 (抜粋)
 - ・履歴書 所定形式
 - ・業績目録 所定形式
 - ・推薦書 所定形式

附記：選考の過程で、選考委員会が応募者の方とお会いする機会を持ちたいと存じます。

人 事

〔法人〕

理事退任 中井 益代 9. 9
 理事就任 東 郁郎 9.10
 “ 原 亮多 “

〔功劳教授称号授与〕

林 泰三 (前中央検査部診療教授) 4. 1

〔採用〕

助 手 岡本 順子 (胸部外科学) 9. 1
 “ 岡本 雅雄 (整形外科学) “
 “ 田中 雅也 (内科学Ⅱ) “
 “ 小畑 仁司 (脳神経外科学) “
 “ 小坂 理也 (整形外科学) “
 “ 山本 博史 (耳鼻咽喉科学) 9.16
 看護婦 若林 希美 (病院看護部) “
 助 手 木村 澄子 (解剖学Ⅱ) 10. 1
 “ 岡崎 審 (産婦人科学) “
 “ 小笠原尚子 (“) “
 “ 萩森 伸一 (耳鼻咽喉科学) “
 事務員 勢川 陽子 (病院事務部医事第二課) “
 看護婦 森下 智恵 (病院看護部) “
 助 手 福本 信介 (内科学Ⅱ) 10.16
 “ 西尾 元 (法医学) 11. 1

〔退職〕

講 師 荻原靖一良 (胸部外科学) 8.31
 助 手 田中 英夫 (脳神経外科学) “
 “ 谷田 泰孝 (整形外科学) “
 “ 本合 泰 (内科学Ⅱ) “
 “ 吉積 宗範 (“) “
 技術員 赤坂 喜久 (輸血室) 7.31
 看護婦 川越由紀子 (病院看護部) “
 “ 石部美代子 (“) 8.31
 “ 石原 美弥 (“) “
 “ 森本 美保 (“) “
 “ 吉田真由美 (“) “
 学内講師 東川 雅彦 (耳鼻咽喉科学) 9.15
 助 手 高瀬 卓志 (脳神経外科学) “
 “ 野井 理 (耳鼻咽喉科学) 9.30
 “ 山田 隆司 (産婦人科学) “
 看護事務員 荒巻 順子 (病院看護部) “
 看護婦 乾 祐子 (“) “
 助 手 東山 俊祐 (周産期センター) 10.31
 看護事務員 白子絵利佳 (“) “
 看護婦 片山 恭子 (“) “
 看護助手 稲岡小夜香 (“) “

〔昇任〕

整形外科学 土居 宗算 (学内講師) 9.16
 講 師

内科学Ⅲ 諏訪 道博 (学内講師) 10. 1
 講 師
 衛生学・ 土手友太郎 (“) 10.16
 公衆衛生学 講 師
 “ 渡邊 美鈴 (“) “
 眼科学 瀧田 潤 (“) “
 講 師
 麻酔科学 田中 源重 (助 手) 11. 1
 講 師

〔兼担〕

中央手術部 矢本 真城 (麻酔科学) 11. 1
 助 手

〔委嘱・解嘱〕

客員教授
 森田 邦夫 9.16
 糸川 嘉則 10. 1
 緒方 昭 “
 望月 真人 11. 1

輸血室長

診療教授 陰山 克 (内科学Ⅱ) 11. 1

保健管理室副室長

主任健康管理医 石原 正 (内科学Ⅰ) 7.24
 講 師

学内講師

助 手 坂根 貞樹 (内科学Ⅰ) 8. 1
 “ 萩原 享 (小児科学) “
 “ 鈴木 周平 (“) “
 “ 田中 雅也 (内科学Ⅱ) 10. 1
 “ 小畑 仁司 (脳神経外科学) “
 “ 北 祥男 (内科学Ⅲ) 11. 1
 “ 折野 達彦 (胸部外科学) “
 “ 長谷川滋人 (“) “

バイオハザード実験室管理運営委員会委員

教 授 大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ) 4. 1
 “ 鈴木 廣一 (法医学) “
 “ 玉井 浩 (小児科学) “
 “ 清水 章 (病態検査学) “

将来計画懇談会委員

学 長 藤本 守 7.24
 学生部長 鏡山 博行 “
 附属病院長 佐々木進次郎 “
 図書館長 清金 公裕 “
 附属病院 清水 章 “
 副 院 長
 大学院小委員会 宮崎 瑞夫 “
 委 員 長
 附属看護 堺 俊明 “
 専門学校長
 教 授 大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ) “
 “ 島田 眞久 (解剖学Ⅱ) “
 “ 河野 公一 (衛生学・ 公衆衛生学) “
 “ 竹中 洋 (耳鼻咽喉科学) “

教授	植木 實 (産婦人科学)	7.24
事務局長	多田 數義 (事務局)	〃
保健管理室運営委員会委員		
保健管理室長	千原精志郎 (心理学)	7.24
教授	芝山 雄老 (病理学Ⅰ)	〃
教授	勝 健一 (内科学Ⅱ)	〃
教授	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	〃
看護副部長	神谷美佐子 (病院看護部)	〃
保健管理室副室長	石原 正 (内科学Ⅰ)	〃
主任健康管理医		〃
講 師		〃
校 医	北浦 泰 (内科学Ⅲ)	〃
助 教		〃
校 医	竹田 喜信 (内科学Ⅱ)	〃
助 教		〃
庶務課長	橋口 直栄 (庶務課)	〃
教務課長	橋本 豊子 (看護専門学校)	〃
看護婦長代理	平野しみず (保健管理室)	〃
同上委員長		
保健管理室長	千原精志郎 (心理学)	7.24
教 授		〃
微生物学講座担当教授選考委員会委員		
教 授	島田 眞久 (解剖学Ⅱ)	9.18
〃	鏡山 博行 (医化学)	〃
〃	宮崎 瑞夫 (薬理学)	〃
〃	芝山 雄老 (病理学Ⅰ)	〃
〃	河野 公一 (衛生学・公衆衛生学)	〃
助 教	小西 和孝 (小児科学)	〃
〃	草壁 秀成 (皮膚科学)	〃
講 師	森松 伸一 (微生物学)	〃
〃	徳田 正邦 (小児科学)	〃
助 手	藤原 正隆 (内科学Ⅰ)	〃
〃	小畑 仁司 (脳神経外科学)	〃
〃	宮崎 時子 (法医学)	10. 1
同上委員長		
教 授	河野 公一 (衛生学・公衆衛生学)	10. 7
神経精神医学講座担当教授選考委員会委員		
教 授	河野 公一 (衛生学・公衆衛生学)	9.18
〃	大澤 伸昭 (内科学Ⅰ)	〃
〃	河村慧四郎 (内科学Ⅲ)	〃
〃	太田 富雄 (脳神経外科学)	〃
〃	清金 公裕 (皮膚科学)	〃
助 教	高松 順太 (内科学Ⅰ)	〃
〃	後山 尚久 (産婦人科学)	〃
講 師	黒田 健治 (神経精神医学)	〃
〃	菅澤 淳 (眼科学)	〃
助 手	康 純 (神経精神医学)	〃
〃	西垣 昌人 (眼科学)	〃
同上委員長		
教 授	大澤 伸昭 (内科学Ⅰ)	10. 4

一般・消化器外科学講座担当教授選考委員会委員		
教 授	勝 健一 (内科学Ⅱ)	9.18
〃	佐々木進次郎 (胸部外科学)	〃
〃	阿部 宗昭 (整形外科)	〃
〃	植林 勇 (放射線医学)	〃
〃	植木 實 (産婦人科学)	〃
助 教	麻田 邦夫 (胸部外科学)	〃
〃	栗本 宗治 (麻醉科学)	〃
講 師	多田 秀樹 (内科学Ⅱ)	〃
〃	森田 眞照 (一般・消化器外科学)	〃
助 手	豊田 昌夫 (〃)	〃
〃	田中 義一 (麻醉科学)	〃
同上委員長		
教 授	佐々木進次郎 (胸部外科学)	10. 4
解 嘱		
保健管理室 (仮称) 設置準備委員会委員		
学生部学生生活	千原精志郎 (心理学)	7.23
委員会委員長		〃
教 授		〃
主任健康管理医	石原 正 (内科学Ⅰ)	〃
講 師		〃
校 医	竹田 喜信 (内科学Ⅱ)	〃
助 教		〃
校 医	北浦 泰 (内科学Ⅲ)	〃
助 教		〃
校 医	坪倉 省吾 (産婦人科学)	〃
診療助教授		〃
庶務課長	橋口 直栄 (庶務課)	〃
看護婦長代理	平野しみず (保健管理室)	〃
微生物学講座担当教授選考委員会委員		
助 手	小畑 仁司 (脳神経外科学)	9.30
輸血室長		
教 授	清水 章 (病態検査学)	10.31
〔海外渡航〕		
鏡山 博行 (医化学教授)		
石井 誠志 (〃 助手)		
生城 浩子 (〃 〃)		
韓国 (慶州) 8. 7.17 ~ 8. 7.20		
鈴木 周平 (小児科学助手)		
アメリカ (コロラド) 8. 7.19 ~ 8. 7.28		
東 郁郎 (眼科学教授)		
中島 正之 (〃 診療助教授)		
徳岡 覚 (〃 講師)		
カナダ (バンクーバー) 8. 7.29 ~ 8. 8. 4		
竹田 喜信 (内科学Ⅱ助教授)		
中国 (北京) 8. 8. 5 ~ 8. 8.31		
内海 隆 (眼科学助教授)		
奥 英弘 (〃 助手)		
オーストラリア (シドニー) 8. 8.12 ~ 8. 8.19		
瀬本 喜啓 (整形外科講師)		
オランダ他 8. 8.13 ~ 8. 8.27		
阿部 宗昭 (整形外科教授)		
オランダ (アムステルダム) 8. 8.14 ~ 8. 8.25		

谷田 泰孝 (整形外科学助手)
オランダ (アムステルダム) 8. 8.15 ~ 8. 8.21
南 敏明 (麻醉科学助手)
カナダ (バンクーバー) 8. 7.17 ~ 8. 8.24
永田 裕人 (整形外科学学内講師)
オランダ (アムステルダム) 8. 8.19 ~ 8. 8.25
堺 俊明 (神経精神医学教授)
米田 博 (〃 助教授)
岡村 武彦 (〃 講師)
横田 伸吾 (〃 助手)
左 光治 (中央検査部助手)
スペイン (マドリッド) 8. 8.20 ~ 8. 9. 2
大槻 勝紀 (解剖学 I 教授)
鳥田 眞久 (解剖学 II 〃)
渡邊 正仁 (〃 助教授)
伊藤 裕子 (解剖学 I 講師)
丸川 治 (〃 〃)
小西 正良 (解剖学 II 〃)
韓国 (ソウル) 8. 8.21 ~ 8. 8.25
岩本 勇作 (泌尿器科学助手)
東 治人 (〃 〃)
スペイン (バルセロナ) 8. 8.24 ~ 8. 9. 1
河野 公一 (衛生学・公衆衛生学教授)
土手友太郎 (〃 学内講師)
渡邊 美鈴 (〃 〃)
高橋 由香 (〃 助手)
ハンガリー (ブタペスト) 8. 8.25 ~ 8. 8. 6
陰山 克 (内科学 II 診療教授)
長谷川 稔 (附属病院助手)
シンガポール 8. 8.25 ~ 8. 8.29
鳥原 政司 (口腔外科学教授)
仙田 順子 (〃 助手)
橋口 範弘 (〃 〃)
ハンガリー (ブタペスト) 8. 8.26 ~ 8. 9. 5
木下 光雄 (整形外科学助教授)
アルゼンチン他 (ブエノスアイレス他) 8. 8.27 ~ 8. 9. 8
鳥田 眞久 (解剖学 II 教授)
カナダ (オタワ) 8. 8.31 ~ 8. 9. 7
香月 脩二 (脳神経外科学助手)
高瀬 卓志 (〃 〃)
ドイツ (ミュンヘン) 8. 8.31 ~ 8. 9. 6
鳥田 眞久 (解剖学 II 教授)
渡邊 正仁 (〃 助教授)
小西 正良 (〃 講師)
早崎 華 (〃 助手)
中国 (重慶) 8. 9. 9 ~ 8. 9.16
岡島 邦雄 (一般・消化器外科学教授)
韓国 (ソウル) 8. 9. 9 ~ 8. 9.12
磯崎 博司 (一般・消化器外科学助教授)
韓国 (ソウル) 8. 9. 9 ~ 8. 9.14
大澤 伸昭 (内科学 I 教授)
石原 正 (〃 講師)
中国 (北京) 8. 9.14 ~ 8. 9.18

長谷川 滋人 (胸部外科学助手)
アメリカ (ミネソタ) 8. 9.15 ~ 8. 9.21
永田 裕人 (整形外科学学内講師)
カナダ (オタワ) 8. 9.21 ~ 8. 9.29
三宅 裕治 (脳神経外科学講師)
イタリア (ローマ) 8. 9.23 ~ 8. 9.29
中張 隆司 (生理学 I 講師)
オーストラリア (シドニー) 8. 9.30 ~ 8.10. 6
田中 英高 (小児科学講師)
カナダ (モントリオール) 8.10. 9 ~ 8.10.19
永田 裕人 (整形外科学学内講師)
スイス (チューリッヒ) 8.10.15 ~ 8.10.20
米田 博 (神経精神医学助教授)
アメリカ (サンフランシスコ) 8.10.27 ~ 8. 11. 1
東 郁郎 (眼科学教授)
アメリカ (シカゴ) 8. 10.28 ~ 8. 10.31
竹田 喜信 (内科学 II 助教授)
フランス (パリ) 8.11. 2 ~ 8.11. 9
小坂 理也 (整形外科学助手)
フランス (パリ他) 8.11. 2 ~ 8.11.11
高尾雄二郎 (内科学 II 助手)
フランス (パリ) 8.11. 3 ~ 8.11.10
佐々木進次郎 (胸部外科学教授)
アメリカ (フロリダ) 8.11. 3 ~ 8.11.11
阿部 宗昭 (整形外科学教授)
フランス他 (パリ他) 8.11. 4 ~ 8.11.10
相馬 義郎 (生理学 I 助手)
イギリス (ニューカッスル) 8. 11.12 ~ 8.12. 6

婦学

田中 嘉雄 (形成外科学助教授)
オーストラリア (クラニオフィシャルユニットウーマンズ
アンドチルドレンズ病院) 8. 1. 8 ~ 8. 7. 7
日本私学振興財団、平成7年度私立大学等経常費補助金特別補
助「高度化推進特別経費」のうち「海外派遣交流経費」該当分
浅井 一規 (生物学講師)
インドネシア 8. 2.14 ~ 8. 7.31
国際協力事業団専門家 (野外生物学) として派遣
奥田 準二 (一般・消化器外科学助手)
アメリカ (クリーブランドクリニック) 8. 4.29 ~ 8.10.31

留学

田中 嘉雄 (形成外科学助教授)
オーストラリア (クラニオフィシャルユニット)
8. 7.20 ~ 8. 12.31
小川 竜介 (脳神経外科学助手)
アメリカ (バージニア大学) 8. 8.15 ~ 8.11.14
岡田 仁克 (病理学 II 助教授)
アメリカ (ハーバード医科大学付属ブリガム・アンド・ウイメ
ンズ病院) 8. 9. 1 ~ 9. 8.31
私学振興財団私立大学等経常費補助金特別補助「国際交流特別
経費」のうち「海外研修派遣」該当分

【休職】

技能員 藤井 成章 (栄養給食課)

9.26

平成8年度（第1回）学位記授与

今回は14名の申請につき所定の審査が行われました。その結果、平成8年7月24日付をもって、14名全員に対し博士（医学）の学位が授与されました。

番 号	氏 名	論 文 題 名
甲第530号	大 中 仁 彦	Involvement of glutamate receptors in strychnine-and bicuculline-induced allodynia in conscious mice (無麻酔マウスにおけるストリキニーネとビククリンにより惹起される allodynia のグルタミン酸受容体の関与)
甲第531号	黒 岩 輝 壮	超血液稀釈による選択的脳冷却の実験的研究 —新たな選択的脳冷却方法の開発と至適温度の検討—
乙第715号	萩 森 伸 一	Effect of Lidocaine Injection on EOAE in Patients with Tinnitus (耳鳴患者の誘発耳音響放射に対するリドカイン静脈内注射の効果)
乙第716号	林 息 吹	嚙下前の呼吸位相の違いが嚙下に与える影響
乙第717号	大 中 仁 彦	Clinical observation of spontaneous anginal attacks and multivessel spasm in variant angina pectoris with normal coronary arteries: Evaluation by 24-hour 12-lead electro-cardiography with computer analysis (正常冠動脈異型狭心症における多枝攣縮の臨床像について: 多誘発心電図長時間データ収録解析装置を用いての検討)
乙第718号	左 光 治	P-31-Magnetic Resonance Spectroscopy Studies in Patients with Temporal Lobe Epilepsy (側頭葉てんかん患者に対する P-31-磁気共鳴スペクトロスコピー研究)
乙第719号	杉 和 憲	Fecal lactoferrin as a marker for disease activity in inflammatory bowel disease: Comparison with other neutrophil-derived proteins (炎症性腸疾患における疾患活動性の指標としての糞便中ラクトフェリンの意義: 他の好中球由来蛋白と比較して)
乙第720号	小 溝 芳 美	Magnetic Resonance Imaging による胃癌の術前進行度診断に関する研究
乙第721号	伊 藤 隆 英	Influence of left atrial function on Doppler transmitral and pulmonary venous flow patterns in dilated and hypertrophic cardiomyopathy: Evaluation of left atrial appendage function by transesophageal echocardiography (心筋症における左房収縮能の左室流入血流と肺静脈血流パターンに及ぼす影響: 経食道エコー法による左心耳機能を介した左房収縮能の評価)
乙第722号	西 野 弘 志	外科侵襲における好中球活性酸素産生能と侵襲関連因子に関する研究
乙第723号	村 上 康 弘	Changes in Thyroid Volume in Response to Radioactive Iodine for Graves' Hyperthyroidism Correlated with Activity of Thyroid-Stimulating Antibody and Treatment Outcome (バセドウ病アイソトープ治療における甲状腺体積変化と甲状腺刺激抗体価および治療効果との関連性の検討)
乙第724号	中 迎 憲 章	Nosological classification of anorexia nervosa (神経性食思不振症の疾病学的分類)
乙第725号	濱 畑 哲 造	大腸潰瘍性病変の成因に関する実験的研究
乙第726号	岸 川 匡 彦	血中正常トランスサイレチンの構造の不均一性の質量分析による解析、及び家族性アミロイドポリニューロパチー患者血清中の異常トランスサイレチンの新検出法の確立

平成8年度 医学会秋季第1回学術講演会

平成8年度医学会・秋季第1回学術講演会が下記のとおり実施されました。

日時 平成8年9月11日（水）午後2時30分
場所 臨床第一講堂

特別講演

『腎近位尿細管の電解質輸送機構について』

第2生理学教授

窪田 隆 裕



『ビタミンの代謝調節機構』

－ ビタミンE、レイノイン酸について －

小児科学教授

玉井 浩



ミニシンポジウム

- ハムスター頬袋由来アンジオテンシンII産生能を有するキマーゼの精製および酵素学的特性
薬理学 高井 真 司 他
- 質量分析による変異蛋白質の構造解析と関連疾患の診断
病態検査学 中 西 豊 文 他
- 脊髄におけるプロスタグランジンの痛みに対する役割
麻酔科学 南 敏 明 他

同和教育に関する特別講義

同和教育に関する特別講義が下記のとおり行われました。

日時 平成8年10月23日（水）
午後2時40分～4時10分
場所 臨床第一講堂
演題 『いじめ』を生む日本社会の構造
講師 朝日新聞東京本社科学部
田 辺 功 編集委員
(本学『医学入門』担当講師)



文部省の補助金について

文部省補助金について、平成8年度私立学校施設整備費補助金及び科学研究費補助金の二次交付の内定通知が、下記のとおりありました。

平成8年度 私立学校施設整備費補助金（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費）

装 置 名	区 分	購入価格（円）	補助金額（円）
研究情報経路の整備のための高速 ATM-LAN 装置	学内 LAN	284,280,000	113,710,000
分散型マルチメディアデータベース構築閲覧システム	研究（院）	113,300,000	45,320,000
計		397,580,000	159,030,000

平成8年度 科学研究費補助金交付二次内定

研究種目	研 究 課 題	所 属 ・ 職 名	氏 名	交 付 内 定 額
基盤研究 (B)	心血管組織におけるアンジオテンシンⅡ局所産生機構と病態薬理	薬 理 学 ・ 教 授	宮 崎 瑞 夫	千円 4,800,000
〃	精神疾患の遺伝生物学的研究	神経精神医学・教授	堺 俊 明	4,900,000
計				9,700,000

創立70周年記念式典の開催について

本学は平成9年6月をもって、創立満70周年を迎えます。その記念式典を平成9年10月4日（土）午後から、高槻現代劇場大ホールにおいて開催することになりました。

また記念事業については、創立70周年記念事業計画委員会において70周年誌の出版及び寄附事業の実施等の検討が行われています。

創立70周年事業計画については、今後基本案ができ次第、学報において報告致します。

大阪府障害者雇用促進協会々長表彰受賞

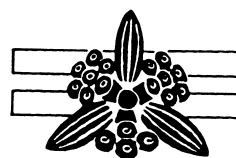
9月11日（水）大阪市M.I.D シアターにおいて、永年勤続優良障害者として本学附属病院リハビリテーションセンター小田省三、館谷昭治、八幡元清の3氏に対し、大阪府障害者雇用促進協会から表彰状及び記念品が授与されました。

また、その永年勤続に貢献した雇用功労事業主として、本法人に対し会長表彰がありました。

[校章]



大阪高等医学専門学校



大阪医科大学予科



大阪医科大学



平成9年度入学試験要項（概要）

平成9年度大学医学部・大学院医学研究科・看護専門学校それぞれの入学試験要項が決定いたしましたのでその概要をお知らせします。

I) 医学部医学科

1) 入学願書受付期間

平成9年1月10日（金）～2月6日（木）

2) 学科試験日および試験科目

月 日（曜）	時 間	教 科	科 目（出 題 範 囲）
2月18日（火）	9：30～11：10 (100分)	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 数Aの科目中平面幾何・計算とコンピューターを除く 数Bの科目中算法とコンピューターを除く 数Cの科目中数値計算・統計処理を除く
	12：30～14：30 (120分)	理 科	「物B・物Ⅱ」・「化B・化Ⅱ」・「生B・生Ⅱ」 の3区分中2区分選択
	15：30～17：00 (90分)	外 国 語	英Ⅱ・リーディング・ライティング

3) 試験場

関西大学・千里山第2学舎（大阪府吹田市千里山）

4) 学科試験合格者発表

2月28日（金）午後4時 大学構内に掲示するとともに、出願者全員に対して、電子郵便で「学科試験合格者受験番号一覧表」を送付する。

5) 面接試験・小論文および健康診断

3月5日（水）午前8時20分（学科試験合格者について実施する）

6) 合格者発表

3月6日（木）午後5時、合格者を本学構内に掲示し、本人宛（保護者現住所）にも合格通知書並びに入学に関する手続書を送付する。

7) 入学検定料 50,000円

8) 納 付 金

項 目	初 年 度 納 付 金			2 年 次 以 降 納 付 金（年 額）
	第1学期（入学手続時）	第2学期（9月15日）	第3学期（1月15日）	
入 学 金	1,000,000 円			
授 業 料	530,000 円	520,000 円	520,000 円	1,570,000 円
実 習 料	110,000 円	100,000 円	100,000 円	310,000 円
施 設 拡 充 費	350,000 円	350,000 円	350,000 円	1,050,000 円
教 育 充 実 費	5,000,000 円			900,000 円
合 計	6,990,000 円	970,000 円	970,000 円	3,830,000 円

★入学手続を完了した者で3月27日（木）正午までに書類により入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納付金を返還する。

（註）

- 1) 入学手続時に学友会入学金 5,000 円。学友会会費 10,000 円 を委託徴収する。
- 2) 納付金には、消費税は課税されない。
- 3) 寄付金・学債等は一切募集しない。

II) 大学院医学研究科

1) 入学願書受付期間

平成9年1月6日(月)～1月20日(月)

2) 入学試験日時、試験科目および試験場

月 日(曜)	時 間	試 験 科 目	試 験 場
2月6日(木)	9:30～11:30	外 国 語	本 学
	12:30～13:30	健康診断	
	13:30～16:00	面 接	
2月7日(金)	14:00～16:30	専攻科目	

3) 合格発表

平成9年3月1日(土)午前9時本学内に掲示すると共に本人宛にも通知する。

4) 入学検定料 20,000円

5) 納 付 金

納 付 金	金 額
入 学 金	230,000円
授 業 料 (第1期分)	90,000円
実 習 料 (第1期分)	50,000円
合 計	370,000円

(注)

- 1) 授業料、実習料は毎年3期分納とし、第2期分及び第3期分は、それぞれ授業料9万円、実習料5万円である。
- 2) 2年次以降の納付金は、毎学年42万円(授業料27万円、実習料15万円)である。

III) 看護専門学校

一般入学試験

学 科	第一看護学科(三年課程)		第二看護学科(二年課程 全日制)	
募集人員	25 名		40 名	
受験資格	1) 高等学校卒業のもの、又はそれと同等の資格を有する者 2) 本年度中に上記の資格取得見込みの者		1) 高等学校衛生看護学科卒業及び卒業見込者 2) 高等学校を卒業し、准看護婦の資格を有する者 3) 准看護婦の免許を取得してから3年以上看護業務に従事している者	
	1 次 試 験	2 次 試 験	1 次 試 験	2 次 試 験
試験日時	平成9年2月2日(日) 9:00～15:30	平成9年2月4日(火) 8:00～	平成9年1月27日(月) 9:00～12:20	平成9年1月28日(火) 8:30～
試験科目	筆記試験 国語Ⅰ 数学Ⅰ(二次関数・ 図形と数量) 数学A(数と式) 生物ⅠB・化学ⅠBのうち いずれか1科目選択 英語Ⅱ 適性検査	身体検査 面 接	筆記試験 一般科目 国語Ⅰ 数学Ⅰ(二次関数・ 図形と数量) 数学A(数と式) 英語Ⅰ 専門科目(准看護婦課程 において履修した科目) 適性検査	身体検査 面 接
試験場	高槻YMCA学院 高槻市八丁西町5番37号	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号	高槻YMCA学院 高槻市八丁西町5番37号	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号
合格発表	平成9年2月3日(月) 12:00	平成9年2月10日(月) 12:00 合否については本人宛 に郵送で通知する	平成9年1月28日(火) 8:00	平成9年2月1日(土) 12:00 最終合否については本人宛 に郵送で通知する
いずれも大阪医科大学正門の掲示板に発表する				

受験料	15,000円	
受付期間	平成9年1月6日(月)～1月24日(金)消印有効 ※ 願書持参は平日9:00～16:30, (土曜、日曜、祝日を除く)	平成9年1月6日(月)～1月17日(金)消印有効 ※ 願書持参は平日9:00～16:30, (土曜、日曜、祝日を除く)
学費	入学金 100,000円 授業料 180,000円(年額) 実験実習費 12,000円(年額)	

推薦入学試験
(指定高校制)

学 科	第一看護学科(三年課程)
募集人員	15名
受験資格	平成9年3月高等学校卒業見込者
推薦基準	推薦者は1学校1名 1) 成績がA段階またはB段階であること。 2) 心身共健康で将来看護婦となるに適している者であること。 3) 専願で合格後必ず入学すること。 4) 学校長の推薦があること。 5) 原則として卒業後本学附属病院に就職すること。
試験日時	平成8年11月13日(水)9:00～
試験科目	筆記試験 国語I・小論文試験 面接試験 適性試験 身体検査
試験場	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号
合格発表	平成8年11月25日(月) 可否については学校に通知するとともに本人に通知する。
受験料	15,000円
受付期間	平成8年11月1日(金)～11月8日(金)消印有効 ※ 願書持参は平日9:00～16:30 (土曜、日曜、祝日を除く)
学 費	入学金 100,000円 授業料 180,000円(年額) 実験実習費 12,000円(年額)

センター紹介

実験動物センター

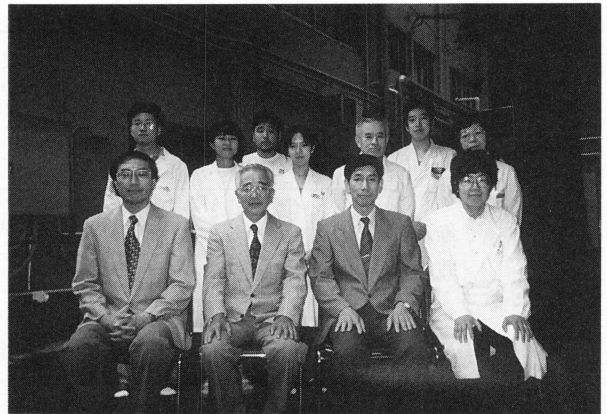
—より良い動物をより良い環境で—

本学実験動物センターは、昭和37年12月構内東南の隅、別館東側道路沿いに、建面積172㎡、延面積620㎡の4階建てで完成した。初代センター長には麻田栄教授（第2外科学）が就任され、次いで武内敦郎教授（胸部外科学）、昭和48年からは中田勝次教授（病理学Ⅰ）に引き継がれ、更に吉田康久教授（衛生学・公衆衛生学）が担当され、平成元年からは森浩志教授（病理学Ⅱ）、そして平成5年からは現在の今井雄介教授（生理学Ⅰ）へと引き継がれている。

現在のスタッフは、センター長：今井雄介教授（生理学Ⅰ）以下、副センター長講師：森本純司、技師補助員：中平幸雄、奥野隆男、恩川弓美恵、用務員：多富啓子、金井義雄、派遣職員：白田健治、事務員（臨時）：黒木圭代、そして兼任職員：河野公一教授（衛生学・公衆衛生学）、前田環講師（病理学Ⅱ）、森田智津子学内講師（微生物学）の専任スタッフ8名、兼任スタッフ4名から構成されている。専任8名の内、森本と黒木が主に事務業務を担当し、他6名が一般小動物グループ（マウス・ラット・ハムスター等）と中動物・コンベンショナル動物グループ（ウサギ・モルモット・イヌ・サル・カエル等）の2組に分かれ直接動物の飼育管理を担当し、動物生死の確認・健康状態の観察、給餌・給水、糞尿の処理、飼育ケージの準備・片付け・洗浄、室内の清掃、薬液による消毒そして死体焼却と毎日多くの作業をこなしている。また兼任職員からは、それぞれ専門家の立場からアドバイスを受けられるようになっている。平成8年9月現在で、このセンター内にはおよそマウス：920匹、ラット：430匹、ウサギ：120羽、モルモット：20匹、イヌ：50頭、サル：40頭、カエル：50匹が飼育されている。

教育面においては、学生の実習講義「実験動物学」および共同利用施設大学院セミナー、利用者講習会を通して、医学部における動物実験の重要性を再認識し、実験動物の基礎知識、正しい動物の取扱いと実験手技を身につけ、動物実験指針を遵守した適正な動物実験が実施されるよう学生・研究者に対して指導を行っている。また、森本は公私立大学実験動物施設協議会ならびに関西実験動物研究会の幹事を努め、各会の運用に参画すると共に、研究面ではマウスを用いて乳癌転移実験モデルの作製に取り組んでいる。

近年、飼育室の改造、クリーンラックの導入、そして平成8年度からはカード式による入退館管理システムの導入とかなり内部の充実は計られてきてはいるが、近年



の動物実験施設が要求する水準、すなわち2500～3000㎡の規模に対して本学は約620㎡と1/4～1/5程度であり、公私立大学内においては45校中39番目に相当する。このように本学の実験動物センターは規模から言えば非常に手狭ではあるが、我々動物センター教職員一同は、動物がより良い環境のもとで飼育管理され、研究者によりすばらしい研究成果を上げてもらえるよう毎日努力しており、研究者から「実験がうまく行っている」という言葉を耳にしたときが我々の最大の喜びである。

（文責 森本）

医学の散歩道

人に心あり —

中央検査部診療教授

友田 恒 典

西国三十三観音めぐりを達成後、西国四十九薬師霊場めぐりをつづけている。特に真摯な信仰心があるわけではないが、気分転換と人との出会いを楽しみにして出かけて行く。

昨年、三重県名張市にある薬師霊場36番札所の弥勒寺（みろく寺）を訪れた時のことである。

いつものように朱印帳に記帳と朱印を頂き、本堂に上がって薬師如来を拝見した後、住職から寺についての由来、本尊の薬師如来の来歴などに関して説明があった。（説明のある寺と、ない寺もある。ないほうが多い）

最後に「大阪医大病院で長い間治療しても治らなかった人がこの寺にお参りして病気が治った」という言葉が住職の口から出た。その時の参詣者は私と家内の他に、一組の夫婦の計4人であり、住職の目が私の目をみつめながら言ったのである。近鉄名張駅からタクシーで20分

位の田舎の寺で、初対面の住職から大阪医大の名がとび出すとは思ってもよらず、びっくりした。

住職の言った言葉は、どんな大病院でも治らなかった病気も、この薬師さんを拜めば治ることが出来ると言うことであったのか知れない。しかし私はこの患者さんの病気は、自然治癒する病気であったが、大学病院で検査づけにあい、いろいろな病名を頂戴し、落ちこんでおられたとも解釈できると思った。

現代医学の進歩はすばらしい。私が内科に入局した頃とくらべて、病気の診断法の進歩は目をみはるばかりである。特に各種臨床検査診断、画像診断法の進歩の著しいことは言うまでもない。機能的にも形態的にも微量、微小の変化を見つけることが容易になった。多くの患者さんはこの進歩の恩恵により、早期診断、早期治療をうけられるようになった。

しかし一方、若い主治医はすべてのこれらの検査結果の解釈に万能であり得ない。患者さんに結果を説明する時、検査結果を読み上げ、陽性所見をすぐ病気や、病名と結びつける傾向が多い。患者さんの顔も見ないで、説明が続けられて行く。患者さんも主治医の横顔しか見ないまま病名を告げられ、納得のいかないまま帰って行く場合もある。他の大学病院でもこのようなことがあると聞いている。

医学の原点は医療にある。医療は心身の治療を必要とする。特に前者の心の診断と治療は、やはり患者さんの顔を見て、対話することから始まるのである。対話の中



弥勒寺本堂前にて

身の充実のためには、医学部の教養、基礎、臨床の三課程のみならず、幅広い見識が必要とされるのではないだろうか。これらの分野を散歩道と考え、常に行きつ戻りつ、学び考えそして反省することも医学の散歩と言えるだろう。

弥勒寺参詣後、帰りの電車の中で、この住職の記した寺の解説を読んだ。最初の出だしは「人に心あり……」であった。特別の言葉ではない。しかし医療従事者が一時も忘れてはならない一言であろう。

海外出張記

衛生学・公衆衛生学助手

高橋由香



ドナウ川とくさり橋

8月25日から29日までハンガリーの首都ブダペストで開催された第21回国際フッ素研究学会に河野教授、吉田名誉教授、渡辺講師、土手講師とともに参加いたしました。

た。ブダペストまでは、関西空港からアムステルダムを経由しての約17時間と長い旅であったため、空港からホテルまでのバスの中では疲れてぐったりしていましたが、前方の視界が開けた途端、ライトアップされ闇の中に浮かび上がった王宮の幻想的な美しさに旅の疲れなどすっかり忘れ去り、翌日からの学会への意欲が沸き上がる思いでした。

今回の学会では70題の発表が行なわれ、日本からの演題は21題と三分の一弱を占めており、また、吉田名誉教授が顧問を、河野教授がシンポジスト及び座長を勤められ、個々の発表に対して熱心な討議がなされる大変充実したものとなりました。英語での白熱した討議に圧倒されると同時に自分もその場に参加できたことをうれしく思いました。学会発表にまだ不慣れな私は直前までかなり緊張していましたが、河野教授が座長をされたセッションでもあったのでリラックスして発表できました。

学会終了後はブダペスト市内の観光を楽しみました。ブダペストにはドナウ川が南北に悠々と流れており、そ

の兩岸のいかにもヨーロッパ風の街並と川にかかっている華麗な橋の数々にはきっと誰もが旅情をかきたてられることと思います。ドナウ川といえば思わずヨハン・シュトラウスのワルツ「美しき青きドナウ」を口ずさんでしまいますが、残念なことに現在は少々濁っておりました(幸せいっぱい恋人達にはドナウは美しい青に見えるそうですが……)。

まず観光バスでブタペストでははずせない観光スポットの王宮、英雄広場、ブタペストの最高のビューポイントであるゲッレルトの丘などを観光したのですが、どこへ行っても日本人観光客がいるのには驚きました(私に関して言えば、ハンガリーはこういう機会がない限り旅先を決める際の選択肢として考えたことがなかったのです)。

次に、私は旅先で市民の足である地下鉄や路線バスな

どを必ず利用することにしてるので今回も市電と地下鉄に挑戦しました。チケットはどちらも共通で市内ならどこまで乗っても一律50Ft(=約50円)で日本に比べるとかなり良心的だと思います。市電はのんびりした雰囲気気軽に乗れましたが、地下鉄は殺伐としており、スリが堂々とカバンを狙ってくるのには驚きました(幸い被害はありませんでした)。かつて、東欧は西欧に比べて治安がかなり良いといわれていましたが……やはりこれは民主化の反作用なののでしょうか。ふと1989年の激動のヨーロッパのことを思い、少々感傷的な気持ちになってしまいました。

充実した気持ちと心地よい疲労感、そして大阪の湿度が高く、厳しい残暑のことなどをなつかしく思いつつ帰国の途につきました。

スマトラ風土記

—熱帯多雨の川と森林の生態—

生物学講師

浅井一視

インドネシアにおける野外生物学研究・指導計画に参加し、淡水生物学の専門家としてアンダラス大学で研究と指導に当たりました。大学はスマトラ西部州の州都パダン市の山手にあり、ちょうどその後ろの山は生態学の研究用フィールドになっており、その山を越えるとkm近い高原で水田、キャベツなどの野菜畑と茶畑が広がっています。大学の付属施設スマトラ自然研究センターでの研究指導、パダンの北20kmでインド洋にそそいでいるアナイ川(長さ約80km)流域での水質調査と藻類の



アナイ川中流

採取が主な仕事でした。川の流域の平野部は主にヤシとバナナの列に囲まれた水田が広がっていて、田植え、稲刈り、牛を使っての田ならしが同時に行われていて、そ



フランボヤンの花と実

のまた近くの水田には、まだ穂がでていない稲があり季節のないのが実感されました。当然毎日ジャワのご飯と辛いミナンカバウ風パダン料理をいただきました。



ナンカの実

丘陵地の集落ではバナナが主要産物で、高木作物にココヤシ・ドリアン、低木作物にはコーヒー・カカオ、林床作物にはパイナップルが頻度高く植えられていました。特に平野部はバナナを除けば、細くて背の高い樹木ばかりがめだって、一抱え以上の巨木が非常に少ないこと、また森林は二次林でした。このことは赤道無風地帯といわれているこの地域においても十年に一度程度の強風、また土壌が雨に流されて少ないことなどが大きな原因となって、生態系に影響を及ぼしていることを示しています。

パダンの中心部は街の様子をしています、車の数に比べて広い道路があり、街路樹が多く森の都のようです。特にフランボヤンの美しい真っ赤な花の後に40cm以上のサヤエンドウと同じ形の実がぶら下がっているのを見つけた時は驚きました。また所々に人の頭より大きな実を付けたナンカの木がありこれにも驚かされました。郊外はのんびりした水田の多い村落で、牛・水牛・ヤギ・

鶏が多く飼われており、また道路沿いには必ず水路か川があり、これが洗濯場・水浴場・トイレ・灌漑に使用されていていつでも豊かな水が流れています。赤道直下は雨季と乾季の区別があまりなく、月平均500mm以上の降雨量で、ほとんど毎日午後から大粒の雨が降り時には一晩で100ミリを超えることもしばしばです。川の水は大雨の後だけ褐色に濁りますがそれもすぐにもとに戻ります。水温は25度前後、pHは7－8、電気伝導度は60 μ S/cm程度この数値は日本の河川では非常にきれいな水域になります。しかしここでは雨量の多いことが電気伝導度を下げていると考えられます。人口の多い村落の出口での値は約2倍になり少し汚濁していると考えられますが、それでも高槻市を流れる芥川よりも格段にきれいな水です。子ども達がよく水路や川で遊んでいました。最後に小話の一つ。「米はナシ、魚はイカン、人はオラン」おそまつでした。



主要会議とその主な議題

7月16日から10月31日までの主要な会議とその主な議題は次のとおりです。

〔理事会〕

(9月3日)

－審議事項－

1. 理事一部選任の件
2. 大阪医科大学学則中一部改正の件

(10月8日)

－その他－

1. 財政について(理事長私見)
2. 建築の将来構想について

〔教授会〕

(7月24日)

1. 人事に関する件(講師の任用他)
2. 客員教授の任用に関する件
3. 学則中一部改正に関する件
4. 平成9年度入学試験に関する件
5. その他

(1) 保健管理室運営委員会の委嘱について

(2) カリキュラム改革について

(9月4日)

1. 人事に関する件(講師の任用他)
2. 客員教授の任用に関する件
3. 功労教授称号授与に関する件
4. 教授選考に関する件(微生物学、神経精神医学、一般・消化器外科学)
5. 第6学年仮進級者の前期試験不合格科目の合否判定に関する件
6. 平成9年度新入生から実施の新カリキュラム(案)

に関する件

7. 保健管理室運営委員会委員の追加に関する件(9月18日)

1. 人事に関する件(講師の任用他)
2. 客員教授の任用に関する件
3. 教授選考に関する件(微生物学、神経精神医学、一般・消化器外科学)
4. 平成9年度新入生から実施の新カリキュラム(案)に関する件

(10月2日)

1. 人事に関する件(客員教授の任用他)
2. 平成9年度新入生から実施の新カリキュラム(案)に関する件
3. その他

(1) 微生物学講座担当教授選考委員会委員の変更について

(10月16日)

1. 人事に関する件(客員教授の任用他)
2. 教授選考に関する件(微生物学、神経精神医学、一般・消化器外科学)
3. 平成9年度新入生から実施の新カリキュラム(案)に関する件
4. 診療科充実に関する検討委員会委員の選出に関する件

〔大学院医学研究科委員会〕

(7月24日)

1. 大学院第2学年院生の退学願出に関する件
2. 研究生の願出に関する件
3. 学位論文審査結果に基づく合(可)否決定に関する件

(10月16日)

1. 平成9年度大学院学生募集に関する件
2. 学位論文受理に関する件

主な行事日程表

(平成8年11月2日～平成9年1月31日)

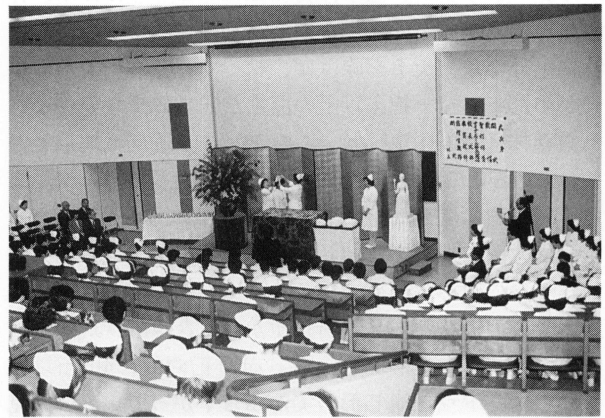
11月2日から1月31日までの学内における主要な予定は次のとおりです。

- 11月 6日(水) 教授会、大学院医学研究科委員会
12日(火) 理事会
13日(水) 看護専門学校第一看護学科推薦入学試験
医学会秋季第2回学術講演会
20日(水) 教授会、大学院医学研究科委員会
30日(木) 理事会・評議員会
- 12月 2日(月) 進学課程学年末試験(12月17日まで)
4日(水) 教授会、大学院医学研究科委員会
7日(土) 動物慰霊祭
9日(月) 学位論文提出のための語学試験
10日(火) 理事会
11日(水) 第5学年臨床実習に関するオリエンテーション
18日(水) 教授会、大学院医学研究科委員会
19日(木) 第1学年早期医療体験学習
21日(土) 看護専門学校冬期休業(1月7日まで)
25日(水) 医学部学生冬期休業(1月7日まで)
- 1月 4日(土) 年賀交歓会
6日(月) 大学院医学研究科入学願書受付(1月20日まで)
看護専門学校入学願書受付
第一看護学科〔3年課程〕
(1月24日まで)
第二看護学科〔2年課程〕
(1月17日まで)
- 8日(水) 医学部学生授業開始
看護専門学校授業開始
8日(木) 教授会、大学院医学研究科委員会
10日(金) 医学部入学願書受付(2月6日まで)
上旬まで)
- 13日(月) 第2学年オリエンテーション
第5学年臨床実習開始
14日(火) 学位論文受付締切
21日(火) 理事会
22日(水) 教授会、大学院医学研究科委員会
27日(月) 看護専門学校第二看護学科入学試験
28日(火) 同上

看護専門学校戴帽式

看護専門学校第一看護学科生42名に対する戴帽式が10月18日(金)午後1時から本学臨床第一講堂において、来賓及び保護者の方々をお迎えし挙行されました。生徒ひとりひとりに、看護部長から真新しいナースキャップ

が戴帽され、おごそかなうちに式は終了しました。



大阪医科大学附属看護専門学校 同窓会(白友会)発足

この度、平成8年6月1日に大阪医科大学附属看護専門学校同窓会設立総会を開催することができました。

同窓会発足に際しましては大学関係者の皆様をはじめ多くの方々のご支援を頂き厚くお礼を申し上げます。

本校は昭和4年に大阪高等医学専門学校附属看護婦学校として設立以来、67年間に3,132名の卒業生を輩出しております。



設立総会には300余名の同窓生の皆様が全国から参集され、学生時代を懐かしみ旧交を温めることができました。また、同窓会の組織ができ、会則、役員、顧問、会

計等の全てが規程に基づき承認され、初代会長には勢川看護部長が就任されました。さらに、同窓会発足と同時に同窓会誌（白友会誌）も創刊することになりました。

今後、同窓会の目的とする「卒業生の親睦を図り、母校の発展に寄与する」ことに努めて参りたいと思います。

今後とも同窓会の成長と発展に皆様のご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。（文責 橋本）

学園祭'96「医人の純真」盛況にて終了

今年はテーマを「医人の純真」と決め、10月13日に開催致しました。前日は、夜から雨が降り始めたため、当日の天候が心配されましたが、早朝に雨は上がり、快晴の秋空の下、たくさんの方々においで頂き、予想以上に盛り上がった学園祭とすることができました。



グラウンドでのバザー風景

今回は吉本興行若手芸人によるワチャチャライブ、医学クイズ大会、河内家菊水丸のライブなど、若い人からご年配の方まで楽しんでもらえる企画をそろえましたので、「本学学生だけでなく、大学周辺の普段お世話になっている住民の方々とも一緒に楽しんでいただく」という昨年の学園祭の主旨を、今年も引き継げたと思っております。

スタッフ一同、不慣れであったため、至らない点も多数あったかと思えます。それにもかかわらず、親切にご指導、協力をして下さった方には心から感謝致します。私達は貴重な体験をさせて頂きました。

この機会を与えて下さった関係者の方々、当日参加していただいた多くの方々、本当にありがとうございました。
学園祭実行委員長 覚野芳光

第48回西医体

ゴルフ部が優勝、各クラブ大いに健闘

第48回西日本医科学学生総合体育大会は金沢医科大学を総合主管校として、西日本の44大学（約15,000人）が参

加し、北陸地区を中心に7月20日～8月13日の日程で、20種目の競技が行われました。

本学の主な成績は次のとおりです。

総合成績 第16位（総合得点205点）

上位成績

優勝	ゴルフ部
準優勝	ソフトテニス部（女子）、ヨット部
第3位	卓球部（女子）

衆知のとおり、本学の伝統は“文武両道”であり、殆どの学生が夏の西医体を目指して、放課後のクラブ活動に日々精進しております。

残念ながら、今回はその努力が報われない総合成績となりましたが、5年生以下の学生は心機一転して、次回の捲土重来を期して目標を定め、真剣にクラブ活動に取り組んでいます。

我々は来年こそは、この努力が報われるに違いないと確信しておりますので、どうか先輩諸氏、教職員の方々には温かいご支援、御指導をお願い致します。

なお、今年度をもってクラブ活動を引退される6年生の方々、本当にお疲れ様でした。我々の最も身近な先輩として、今後よろしくお願い致します。

平成8年度 体育会委員長

大室智士（5年）



2年連続優勝のゴルフ部

西医体優勝を目標に部員全員で頑張ってきたので、目標を達成することができて非常にうれしいです。次は3連覇を目指して1年間頑張っていきたいと思っております。



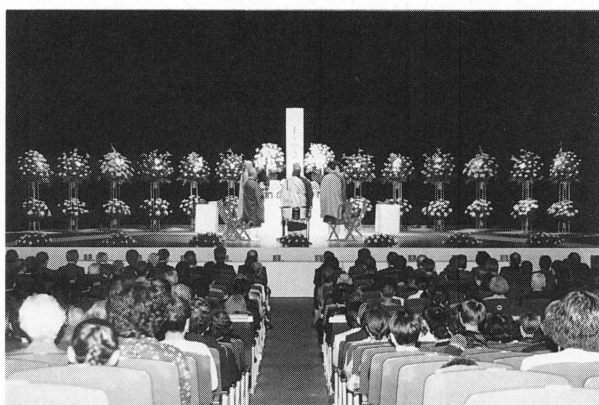
準優勝のソフトテニス部（女子）

大会前の強練を頑張った甲斐あり、めでたく準優勝することができました。

応援している人も、試合に出ている人も全員が一つになることができ、本当に楽しい思い出となりました。

平成8年度解剖慰霊祭

平成8年度の解剖慰霊祭が、10月19日(土)午後2時より、高槻市民会館において、ご遺族、さつき会々員(生前献体登録者)及び来賓各位約400名をお迎えし、本学役員、教職員並びに学生、看護専門学校生の参列のもと、執り行なわれました。



附属病院西側増築工事について

本年9月から附属病院西側(2号館~3号館)部分増築のための準備工事が始まりました。11からは本格的な基礎工事が行われ、平成9年3月末の竣工予定となっています。

この増築により、新たに病院西側に総面積1,116㎡4階建のスペースが拡張されます。これにより、医療環境の充実及び患者サービスのより一層の向上を図ることが可能となります。

工事期間中は何かとご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご協力下さるようお願い致します。



附属病院西側工事現場

消防避難訓練

10月23日(水)午後2時から、夜間・休日体制における職員を対象に約70名が参加して消防避難訓練が行われました。

当日は附属病院66病棟から出火したことを想定して、消防ハシゴ車による救出訓練、救助袋による非難等、火災緊急時における患者さんの生命と安全を守るための真剣な訓練が行われました。



模擬患者のタンカによる搬送



救助袋、ハシゴ車による避難

附 属 病 院

平成9年度臨床研修医募集要項

平成9年度本学附属病院の臨床研修医募集要項が下記のとおり決定いたしました。

募 集 要 項

1. 募集人員

全科で100名以内とする

2. 研修科目

第 1 内 科,	第 2 内 科
第 3 内 科,	精 神 神 経 科
一般・消化器外科,	胸 部 外 科
脳 神 経 外 科,	整 形 外 科
小 児 科,	産 婦 人 科
眼 科,	耳 鼻 咽 喉 科
皮 膚 科,	泌 尿 器 科
放 射 線 科,	麻 酔 科
歯 科 口 腔 外 科,	形 成 外 科

中央検査部・病態検査学

3. 応募資格

原則として当年施行の医師国家試験合格見込の者および医師免許証を有する者

4. 出願期間

平成8年12月2日（月）から
平成9年1月31日（金）まで

5. 提出書類

- (1) 臨床研修許可願
- (2) 履歴書（JIS日本工業規格使用、上半身の写真を貼付のこと）
- (3) 住民登録票
- (4) 卒業（見込）証明書および推薦書
- (5) 健康診断書
- (6) 国家試験合格証書又は医師免許証（写）

6. 選考方法

各科個別におこなう
詳細は、各科より出願者に通知する

7. 臨床研修許可発表

郵送をもって通知する

8. 臨床研修開始予定 平成9年5月1日（木）

なお、臨床研修実施にあたり医師国家試験発表後各科において打ち合せを行い、平成9年4月25日（金）に全科合同のオリエンテーションを行う予定

9. その他

各科研修カリキュラムは別に定める

平成8年度上半期附属病院患者動態

本年度上半期の患者動態は下記の通りです。

（平成8年4月～平成8年9月）

	人		対前年度増減率%	
	入院患者数	外来患者数	入院患者数	外来患者数
H. 8. 4	(874.8) 26,244	(2,700.3) 62,108	1.35	6.33
H. 8. 5	(855.8) 26,531	(2,850.4) 62,709	4.16	3.27
H. 8. 6	(886.8) 26,605	(2,719.9) 59,837	4.17	△ 3.40
H. 8. 7	(883.8) 27,399	(2,829.4) 67,906	1.42	7.34
H. 8. 8	(857.0) 26,568	(2,472.4) 61,810	△ 2.39	△ 3.80
H. 8. 9	(840.8) 25,224	(2,757.4) 57,905	△ 6.50	△ 6.21
合 計	(866.5) 158,571	(2,717.3) 372,275	0.29	0.52

（ ）内は、1日平均患者数

*平成8年度上半期入院関係稼働日数183日（平成7年度も同）
外来関係稼働日数137日（平成7年度150日）

—小児病棟うんどうかい—

10月16日（水）快晴の空の下、中央資料館東側芝生において、小児病棟入院患者さんを中心とした“うんどうかい”が行われました。秋の暖かな陽ざしの中、病気を忘れた子供達の楽しそうな歓声が聞こえていました。



保健管理室からのお知らせ

1. 一般用医薬品と応急処置ができるようになりました

保健管理室では応急処置として一般医薬品（OTC薬 over the counter）を常備しました。但し、渡せるのは1回分のみです。擦り傷の消毒、打撲による湿布もできます。快方に向かわない時は、早めに附属病院や他の医療機関を受診して下さい。

「薬」に頼るだけでなく、身体の内自然治癒力を高めるために「休養」と「栄養」を忘れずに！

お薬についての質問があれば、気軽にご相談下さい。

2. インフルエンザ予防接種終了しました

今年も定期健康診断に併せてインフルエンザ予防接種を希望者を対象に実施しました。申込者は教職員2名、医学生8名でした。

毎年冬になりますと、インフルエンザが流行します。インフルエンザは短期間に広い地域にわたって流行しますので日頃より偏食しない、十分睡眠をとる、身体を鍛える、厚着をしない、マスクを利用する、室内の換気をする、外から帰ったときは直ちに「うがいを励行する」などの注意をお忘れなく。

保健管理室行事予定

HB3 回目ワクチン接種（場所：第10会議室）

12月4日（水）PM 2：30～3：30

5日（木）

*第1、2回目接種終了者対象

ワクチン接種後の抗体検査

平成9年1月22日（水）PM 2：30～3：30

23日（木）

*終了者は必ず受検して下さい



大阪医科大学俳句会(七／八／九月)

夭折の戒名短し迎鐘

塚本 務人

唐崎は下の神様御手洗祭

今井 雄介

黒混ぜてハーフなりけりビール酌む

中川 一成

私には信条があるひね胡瓜

梶野 興三

夕立の後吹く風や就職難

同

顔かくすだけの扇に源氏香

梶野香代子

晩産化金の草鞋を履く金魚

同

目が合へば心読む猿太閣忌

奥田 筆子

祇園祭がばがば伸す紋提灯

同

望月を白で描く國ピエロ好き

吉田 孝江

朝ぐもり積んで崩るる時間割

飯塚 久子

生涯の酒量尽しぬ夾竹桃

山崎 隆司

たかつき散策

—からふじ廓文章—

たかつきの旧家の古文書の中から、遊女が恋する男に宛てた手紙が発見されました。それは遊里から発送された、“からふじ”という遊女からの恋文でありました。

「廓」の恋は、実はかりそめの恋。それは男と女の虚々実の「うそ」と「まこと」の重なりあった、手連手管を尽くしたものであったようであります。

その内容は心情を交わした男への恋慕と、その心変わりを責める嫉妬が巧みに交差し、最後に「至急逢いたし」としめくられています。

この先このふたりがどうなったのか、知るよしもありませんが、決して実ることのないであろうと知りつつも、一片の藁にもすがる想いと、やるせない諦めが偲ばれて心がゆさぶられます。

高槻は西国街道の要所で、幕府もそうした背景からかこの道沿いに「廓」をつくることは許しませんでした。からふじの暮らした「遊里」はおそらく、京都あたりでなかったかと思われまます。

とりとめもなき昔の話ではありますが、この世に男と女のある限り尽きることのない、嬉しくはかない世界なのかもしれません。

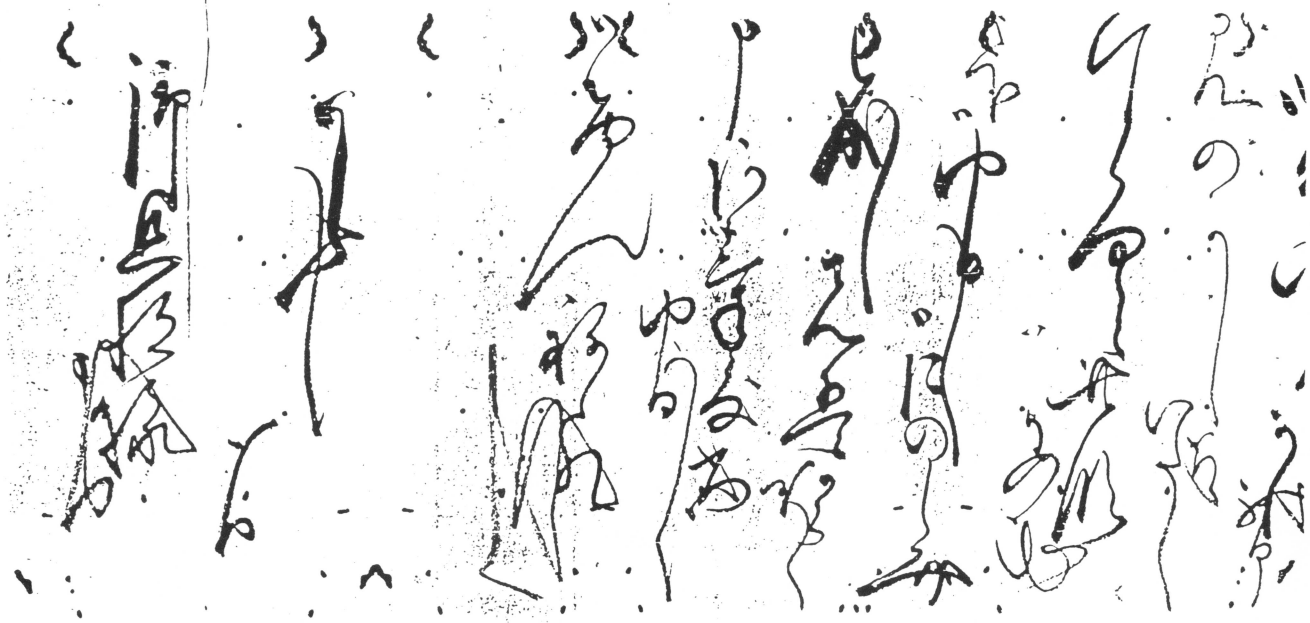
—「いにしえ物語」高槻市刊より—



郭中美人鏡
岡本屋科照

榮昌画

岡本屋科照 鳥高齋榮昌 画



—最後に「からふじより御旦那樣まいる」とある—



— プロムナード（大学正門東） —

無機質な色彩に取り囲まれた病室にいと、人間は知らず知らず色彩感覚を失ってゆく。特に室外に出て、木々の緑を眺め、こもれ日と涼風に接すると、きっと生きることの喜びを感じる事ができるだろう。構内の木々や花は、単に美しい環境を造るだけでなく、闘病者にとって格別の意味を持っているのだ。

大阪医科大学学報 第30号

発行年月日 平成8年11月1日

発行 学校法人 大阪医科大学

発行責任者 事務局長 多田 数義

編集・発行 総務部庶務課